

四 半 期 報 告 書

(第47期第1四半期)

日 本 管 財 株 式 会 社

兵庫県西宮市六湛寺町9番16号

(E04828)

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

日 本 管 財 株 式 会 社

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	3
第2 【事業の状況】	4
1 【事業等のリスク】	4
2 【経営上の重要な契約等】	4
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	4
第3 【提出会社の状況】	7
1 【株式等の状況】	7
2 【役員の状況】	8
第4 【経理の状況】	9
1 【四半期連結財務諸表】	10
2 【その他】	20
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	21

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成23年8月10日

【四半期会計期間】 第47期第1四半期(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

【会社名】 日本管財株式会社

【英訳名】 NIPPON KANZAI Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 福田 慎太郎

【本店の所在の場所】 兵庫県西宮市六湛寺町9番16号

【電話番号】 0798(35)2200(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役財務部長 原田 康弘

【最寄りの連絡場所】 兵庫県西宮市六湛寺町9番16号

【電話番号】 0798(35)2200(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役財務部長 原田 康弘

【縦覧に供する場所】 日本管財株式会社東京本部
(東京都千代田区神田多町2丁目2番地 神田21ビル)

日本管財株式会社大阪本部
(大阪府中央区道修町4丁目4番10号 KDX小林道修町ビル)

日本管財株式会社九州支店
(福岡市中央区天神1丁目14番16号 福岡三栄ビル)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社大阪証券取引所
(大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第46期 第1四半期 連結累計期間	第47期 第1四半期 連結累計期間	第46期
	自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (千円)	18,474,269	18,013,283	73,428,979
経常利益 (千円)	885,542	982,395	3,735,821
四半期(当期)純利益 (千円)	362,341	509,050	1,685,887
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	318,838	564,021	1,938,759
純資産額 (千円)	24,000,743	24,690,808	24,780,482
総資産額 (千円)	35,788,453	36,916,752	37,233,600
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	20.99	30.12	99.14
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	62.60	62.77	62.26

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第46期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、新たに締結した経営上の重要な契約等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災による落ち込みから、徐々に持ち直しつつあり、電力不足懸念や政府の復興対策遅れなど、不透明要素はあるものの、工場の操業再開など、国内企業の復興・回復への動きは強まっております。

不動産関連サービス業界におきましては、契約先のコスト削減意識の高まりや業務対象物件の閉鎖・縮小、オフィスや商業ビルの空室率の上昇など、引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、引き続きビルメンテナンスの周辺業務の拡大を図るとともに、プロパティマネジメント事業、PFI事業等への取り組みやグループ企業の強化など積極的な事業展開を図ってまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、新規案件の受託は概ね順調に推移いたしました。前年同期に発生した不動産ファンドにおける資産の売却収入が計上されなかったため、180億13百万円(前年同四半期比2.5%減)となりました。

収益面におきましては、受託単価の伸び悩みによる収益性の圧迫はありましたが、仕入単価の見直しや時間管理の徹底を図り、管理コストの削減・抑制に努めるほか、前述の資産売却に係る費用も発生がなかったことにより、営業利益8億99百万円(前年同四半期比5.3%増)、経常利益9億82百万円(前年同四半期比10.9%増)、四半期純利益5億9百万円(前年同四半期比40.5%増)と前年同四半期を上回る結果となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(建物管理運営事業)

主たる業務であるビル管理業務及び保安警備の建物管理運営事業につきましては、不動産関連サービスの受託が堅調であったことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は156億44百万円(前年同四半期比1.0%増)となりました。

収益面におきましても、受託単価の伸び悩み等の影響もありましたが、原価率の低減を図れたことによりセグメント利益は15億24百万円(前年同四半期比3.4%増)となりました。

(環境施設管理事業)

上下水道処理施設等の公共施設管理を主体とする環境施設管理事業につきましては、ゴミ焼却施設やリサイクル施設管理を中心に新規案件の受託も概ね順調であったことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は17億35百万円(前年同四半期比6.1%増)となりました。

収益面におきましても、主要取引先である地方自治体の財政は依然として緊縮傾向にあるものの、仕入価格の見直しや適正な人員配置を中心にコスト削減に努めてまいりました結果、セグメント利益は1億55百万円(前年同四半期比45.5%増)となりました。

(不動産ファンドマネジメント事業)

不動産ファンドの組成・資産運用を行うアセットマネジメント及び匿名組合への出資を主体とする不動産ファンドマネジメント事業につきましては、資産運用のアセットマネジメント収入は安定して計上できましたが、資産売却に伴う収益の発生がなかったことより、当第1四半期連結累計期間の売上高は1億円(前年同四半期比87.2%減)となりました。

収益面におきましても、資産売却に伴う費用の発生がなかったため、セグメント利益は8百万円(前年同四半期比80.4%減)となりました。

(その他の事業)

イベントの企画・運営、印刷、デザインを主体としたその他の事業は、各種イベントの規模縮小や取引先のコスト抑制により、当第1四半期連結累計期間の売上高は5億33百万円(前年同四半期比4.9%減)、セグメント利益17百万円(前年同四半期比32.8%減)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億16百万円(0.9%減)減少して369億16百万円となりました。

これは、前払費用や投資有価証券の増加に対して、売掛金の回収やマスターリース契約の解約に伴う敷金及び保証金の減少が主な要因となっております。

負債は、未払費用の増加に対して、未払法人税等の支払いや前述のマスターリース契約の解約に伴う預かり保証金の減少により、前連結会計年度末に比べ2億27百万円(1.8%減)減少し122億25百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上による増加の一方、配当金の支払いによる減少により89百万円(0.4%減)減少して246億円90百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.5ポイント増加し62.8%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 従業員数

当第1四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

(5) 生産、受注及び販売の実績

当社グループ(当社及び連結子会社)の業務内容は、不動産関連サービス等の役務提供を主体としているため、生産実績並びに受注実績の該当事項はありません。

また、当第1四半期連結累計期間において、外注費及び商品仕入実績並びに販売実績に著しい変動はありません。

(6) 主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	20,590,153	20,590,153	(株)東京証券取引所 (市場第一部) (株)大阪証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります
計	20,590,153	20,590,153	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年6月30日	—	20,590	—	3,000,000	—	498,800

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成23年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成23年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,369,400	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,177,800	171,778	—
単元未満株式	普通株式 42,953	—	—
発行済株式総数	20,590,153	—	—
総株主の議決権	—	171,778	—

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄には、証券保管振替機構名義の株式が、3,200株(議決権の数32個)含まれております。

2 上記「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己保有株式が2株含まれております。

② 【自己株式等】

平成23年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 日本管財株式会社	兵庫県西宮市 六湛寺町9番16号	3,369,400	—	3,369,400	16.36
計	—	3,369,400	—	3,369,400	16.36

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,801,956	11,940,028
受取手形及び売掛金	8,240,981	7,738,920
事業目的匿名組合出資金	269,638	269,638
貯蔵品	71,619	74,549
販売用不動産	2,063,938	2,085,465
未収還付法人税等	10,229	10,522
繰延税金資産	407,612	409,037
その他	840,612	1,218,905
貸倒引当金	△40,759	△80,489
流動資産合計	23,665,826	23,666,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,732,981	1,708,036
機械装置及び運搬具（純額）	44,415	42,161
工具、器具及び備品（純額）	239,486	238,993
土地	1,255,093	1,255,093
リース資産（純額）	657,030	667,220
有形固定資産合計	3,929,005	3,911,503
無形固定資産		
電話加入権	34,790	34,943
ソフトウェア	568,536	520,168
のれん	124,126	87,070
リース資産	15,299	14,297
無形固定資産合計	742,751	656,478
投資その他の資産		
投資有価証券	5,075,640	5,300,469
長期貸付金	536,054	522,579
長期前払費用	8,408	4,106
敷金及び保証金	1,843,616	1,443,627
会員権	397,319	381,934
繰延税金資産	792,983	719,553
その他	1,043,530	1,056,823
貸倒引当金	△801,532	△746,895
投資その他の資産合計	8,896,018	8,682,196
固定資産合計	13,567,774	13,250,177
資産合計	37,233,600	36,916,752

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,007,277	4,104,135
1年内返済予定の長期借入金	166,000	166,000
1年内返済予定の長期ノンリコースローン	19,800	18,900
リース債務	144,388	152,617
未払費用	1,891,946	2,784,074
未払法人税等	592,106	309,247
未払消費税等	321,986	446,912
預り金	210,574	316,181
前受金	52,530	66,465
賞与引当金	617,610	99,041
役員賞与引当金	79,421	19,261
その他	96,289	66,358
流動負債合計	8,199,927	8,549,191
固定負債		
長期借入金	333,904	250,904
長期ノンリコースローン	1,313,300	1,294,400
リース債務	522,793	524,257
繰延税金負債	9,333	10,659
退職給付引当金	140,636	152,509
役員退職慰労引当金	505,994	411,162
長期預り保証金	1,173,767	775,670
資産除去債務	189,078	198,146
持分法適用に伴う負債	31,568	26,092
その他	32,818	32,954
固定負債合計	4,253,191	3,676,753
負債合計	12,453,118	12,225,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	498,800	498,800
利益剰余金	24,984,851	24,916,925
自己株式	△5,392,761	△5,358,789
株主資本合計	23,090,890	23,056,936
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,336	114,612
その他の包括利益累計額合計	89,336	114,612
少数株主持分	1,600,256	1,519,260
純資産合計	24,780,482	24,690,808
負債純資産合計	37,233,600	36,916,752

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	18,474,269	18,013,283
売上原価	15,087,074	14,595,868
売上総利益	3,387,195	3,417,415
販売費及び一般管理費		
販売費	33,721	31,788
人件費	1,430,616	1,452,537
賞与引当金繰入額	30,340	27,968
役員賞与引当金繰入額	19,432	19,261
役員退職慰労引当金繰入額	32,263	7,750
退職給付費用	33,174	33,667
旅費交通費及び通信費	189,731	193,952
消耗品費	94,398	88,137
賃借料	199,480	199,183
保険料	49,242	46,189
減価償却費	89,591	94,165
租税公課	47,159	52,223
事業税	18,909	20,387
貸倒引当金繰入額	307	93
のれん償却額	37,153	37,056
その他	226,872	213,333
販売費及び一般管理費合計	2,532,388	2,517,689
営業利益	854,807	899,726
営業外収益		
受取利息及び配当金	47,015	48,199
受取賃貸料	9,681	9,608
持分法による投資利益	6,676	15,659
その他	14,954	42,241
営業外収益合計	78,326	115,707
営業外費用		
支払利息	6,500	10,341
投資有価証券売却損	18,927	—
賃貸費用	15,685	15,656
固定資産除売却損	4,551	1,472
その他	1,928	5,569
営業外費用合計	47,591	33,038
経常利益	885,542	982,395

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
特別損失		
投資有価証券評価損	1,500	0
会員権評価損	6,852	15,360
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	113,748	—
労務補償金	48,943	—
特別損失合計	171,043	15,360
税金等調整前四半期純利益	714,499	967,035
法人税、住民税及び事業税	354,045	378,320
過年度法人税等戻入額	△2,373	—
法人税等調整額	△23,299	49,431
法人税等合計	328,373	427,751
少数株主損益調整前四半期純利益	386,126	539,284
少数株主利益	23,785	30,234
四半期純利益	362,341	509,050

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	386,126	539,284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67,288	24,737
その他の包括利益合計	△67,288	24,737
四半期包括利益	318,838	564,021
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295,710	534,326
少数株主に係る四半期包括利益	23,128	29,695

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<p>偶発債務</p> <p>差入証による損害等の保証</p> <p>合同会社ビーイーツー 1,790,000千円</p> <p>同社(匿名組合の営業者)が締結しているノンリコースローンの金銭消費貸貸契約書に関連して、故意、重過失及び虚偽の表明等の行為により、貸付人に対して損害を与えた場合、貸付人が被った損害及び費用を保証するスポンサー・レターを連結子会社が差し入れております。</p> <p>なお、当連結会計年度の末日における当該ノンリコースローンの金銭消費貸貸契約の借入残高は1,790,000千円であります。</p>	<p>偶発債務</p> <p>差入証による損害等の保証</p> <p>合同会社ビーイーツー 1,790,000千円</p> <p>同社(匿名組合の営業者)が締結しているノンリコースローンの金銭消費貸貸契約書に関連して、故意、重過失及び虚偽の表明等の行為により、貸付人に対して損害を与えた場合、貸付人が被った損害及び費用を保証するスポンサー・レターを連結子会社が差し入れております。</p> <p>なお、当第1四半期連結会計期間の末日における当該ノンリコースローンの金銭消費貸貸契約の借入残高は1,790,000千円であります。</p>

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項なし

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)

及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
減価償却費 122,041千円	減価償却費 132,912千円
のれん償却額 37,153千円	のれん償却額 37,056千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	276,184	16.00	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	574,326	34.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	建物管理 運営事業 (千円)	環境施設 管理事業 (千円)	不動産ファン ドマネジメン ト事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への 売上高	15,494,016	1,635,795	783,587	560,871	18,474,269	—	18,474,269
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	15,494,016	1,635,795	783,587	560,871	18,474,269	—	18,474,269
セグメント利益	1,473,736	106,765	44,124	25,466	1,650,091	△795,284	854,807

(注) 1 セグメント利益の調整額△795,284千円は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	建物管理 運営事業 (千円)	環境施設 管理事業 (千円)	不動産ファン ドマネジメン ト事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への 売上高	15,644,740	1,735,230	100,101	533,212	18,013,283	—	18,013,283
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	15,644,740	1,735,230	100,101	533,212	18,013,283	—	18,013,283
セグメント利益	1,524,362	155,331	8,660	17,115	1,705,468	△805,742	899,726

(注) 1 セグメント利益の調整額△805,742千円は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	20円99銭	30円12銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	362,341	509,050
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	362,341	509,050
普通株式の期中平均株式数(株)	17,261,495	16,900,824

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月10日

日本管財株式会社
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 萩 森 正 彦 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日本管財株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日本管財株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】 確認書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の8第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成23年8月10日

【会社名】 日本管財株式会社

【英訳名】 NIPPON KANZAI Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 福田 慎太郎

【最高財務責任者の役職氏名】 ー

【本店の所在の場所】 兵庫県西宮市六湛寺町9番16号

【縦覧に供する場所】 日本管財株式会社東京本部
(東京都千代田区神田多町2丁目2番地 神田21ビル)

日本管財株式会社大阪本部
(大阪府中央区道修町4丁目4番10号 KDX小林道修町ビル)

日本管財株式会社九州支店
(福岡市中央区天神1丁目14番16号 福岡三栄ビル)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社大阪証券取引所
(大阪府中央区北浜1丁目8番16号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長 福田慎太郎は、当社の第47期第1四半期(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。